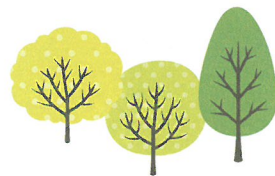


北方小学校みどりの少年団



が全国緑の少年団活動発表大会で発表しました

「全国緑の少年団活動発表大会」が10月19日に福井県福井市の福井県民ホール（AOSSA）において秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えして開催されました。今年度の「みどりの奨励賞」に選ばれた「北方小学校みどりの少年団」（揖斐川町）を代表して角田 覇奈（つのだ はな）さん、寺井 蒼旺（てらい あお）さん、所 俐央（ところ りお）さんが活動発表を行いました。

今回の活動発表では「つなぐ」をキーワードにこれまで、毎年先輩から後輩につなぎながら、苗木の育成から緑化までの長期的な活動を継続的にやっていること、間伐や枝打ち体験を通じて、元気な森を育てるためには人の手を入れる必要があること、さらに山に降った雨がどうなるのか装置を使った実験や、揖斐川にいる生き物の観察を通じて学んだ森の働きや生態について発表しました。

発表の最後には、将来も今と変わらないきれいな水があるように、豊かな山々に囲まれた揖斐川町であるように、こうした活動を伝統として次の世代へつなげていく思いを会場の皆さんに発信しました。

未来へつなぐ活動に積極的に取り組む熱意と責任感あふれる姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

翌20日の第47回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、福井県のみどりの少年団が育てたウスズミザクラなどの苗木が贈られ、井川 葉奈（いかわ はな）さん、寺澤 隼人（てらざわ はやと）さんが受領しました。

大会を振り返り、北方小学校みどりの少年団は、大変貴重な体験ができたことと思います。これからも緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されるとともに、みどりの少年団活動の伝統を引き継いでいってくれることを願っています。



団旗の入場受渡



発表の様子



表彰



表彰（中央が北方小学校）



北方小学校みどりの少年団
後列左から 中島校長、道家先生
前列左から 寺澤さん、寺井さん、所さん、
角田さん、井川さん



【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆】